

ワイヤレスLANカード

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ 警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 注意 本機をオープン&ターンスタイルのクリエでお使いになる場合、ディスプレイパネルを開いた状態で回転させるとディスプレイパネルと本機が接触し、動作に不具合を起こす場合がありますので充分にご注意ください。

CLiE
GEAR

PEGA-WL100



安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使い方をする、火災や感電などにより人身事故につながることもあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

6～9ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにソニーサービス窓口、または販売店に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- ・ 煙が出たら
- ・ 異常な音、においがしたら
- ・ 内部に水、異物が入ったら
- ・ 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき



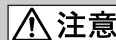
- ❶ クリエの電源を切る
- ❷ 本機をクリエからとりはずす
- ❸ ソニーサービス窓口、または販売店に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止

行為を指示する記号



指示

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

また本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。認証機器名は次のとおりです。

認証機器名：WCF2011BMW

ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解 / 改造すること
- 本機の裏面にある証明番号を消すこと

周波数について

本機は2.4 GHz帯の2.4000 GHzから2.4835 GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意

本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ネットコミュニケーション カスタマーリンクまでお問い合わせください。

2.4 D S 4



この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS変調方式を採用し、与干渉距離は40 mです。

- Sony、**SONY**、クリエ、**CLiÉ**、CLiÉ GEAR、**CLiÉ**、Jog DialおよびMemory Stickは、ソニー株式会社の商標です。
- Palm OS、HotSyncは、Palm, Inc.またはその子会社の登録商標であり、Palm Desktop、HotSyncのロゴは、Palm, Inc.またはその子会社の商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

当該ソフトウェアをご使用いただく前に、ソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。

- 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
- 本機に付属のソフトウェアは、本機以外には使用できません。
- 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご容赦ください。
- 本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は、保証しておりません。

目次

⚠ 警告・⚠ 注意	6
はじめに	10
各部のなまえ	12
本機を挿入する / 取りはずす	13
ソフトウェアをインストールする	14
無線LANアクセスポイントを経由して通信する (インフラストラクチャーモード).....	16
設定する	16
高度な設定	22
無線LANに接続する	23
対応機器同士で直接通信する(アドホックモード).....	25
設定する	25
対応機器に接続する	33
無線LANでネットワークHotSyncする	35
困ったときは	37
使用上のご注意	40
主な仕様	41
保証書とアフターサービス	42



下記の注意事項を守らないと
死亡や大けがの原因となります。

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながら表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分にご注意ください。



下記の注意事項を守らないと**けが**を
したり周辺の**物品に損害**を与えたり
することがあります。

本機は国内専用です

海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合罰せられることがあります。



本機はソニーパーソナルエンターテインメント
オーガナイザー Palm OS 5 (ver. 5.0以上) 専用です



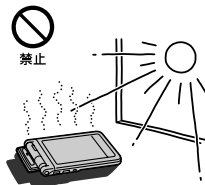
他の機器で使うと、故障の原因となります。



下記の注意事項を守らないと**けが**を
したり周辺の**物品に損害**を与えたり
することがあります。

直射日光の当たる場所や熱器具近くに
設置・保管しない

高温の車内などでは内部の温度が上がり、故
障の原因となります。



安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置く
と、製品が落ちてけがの原因となることがあ
ります。置き場所、取り付け場所の強度も充
分に確認してください。

また、クリエに本機を取り付けたまま、かば
ん等に入れないでください。



油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置し
ない

上記のような場所に設置すると、故障の原因
となることがあります。



内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると故障の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、ソニーサービスイ
ンポート、または販売店に修理をご依頼ください。





下記の注意事項を守らないと**けが**を
したり周辺の**物品に損害**を与えたり
することがあります。

コネクタはきちんと接続する

コネクタの内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート(短絡)して、故障の原因となることがあります。



注意

分解や改造をしない

けがおよび故障の原因となることがあります。内部の点検、修理はソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止

航空機内で使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となることがあります。



禁止

医療機器の近くでは使わない

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えることがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。



禁止

心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上 離すこと

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えることがあります。



禁止

自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近く
では使用しないこと

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となる
おそれがあります。



禁止

自動車内での使用に注意する

まれに車種により車両電子機器に影響を与える場合が
あります。自動車内でご使用になる場合はご注意ください。



注意

本機の通信を中止させるには

13ページの手順に従って本機をクリエから取りはずしてください。

はじめに

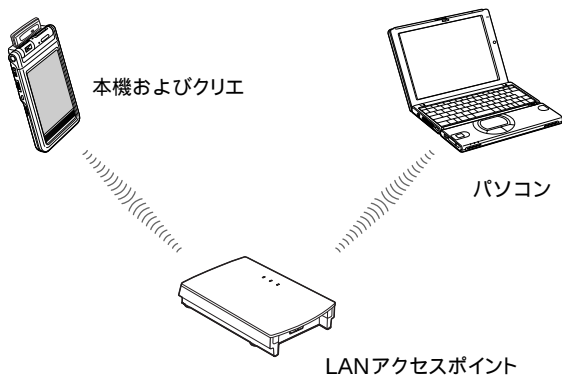
本機は、ソニーパーソナルエンターテインメントオーガナイザー(以下クリエ) Palm OS 5(ver. 5.0以上)用のワイヤレスLANカードです。

IEEE 802.11b規格に準拠しています*ので、LANアクセスポイントがある場所では、ワイヤレスでインターネットに接続することもできます。

* WiFi認定取得済み

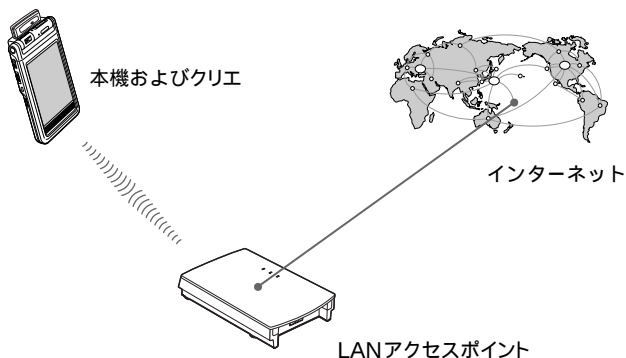
HotSyncする

クリエとパソコンの間で、ネットワークHotSync(無線でデータを同期)をすることができます。HotSyncについて詳しくは、クリエの取扱説明書をご覧ください。



インターネットに接続する

本機を挿入したクリエから、LANアクセスポイントを経由してインターネットに接続し、ホームページを見たり、電子メールを送受信することができます。



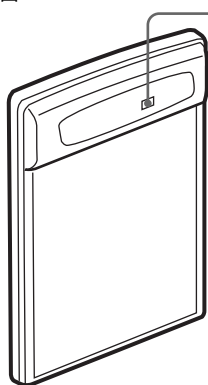
ご注意

- LANアクセスポイントを使ってインターネットに接続するには、通信事業者との回線契約およびインターネットサービスプロバイダ(以下プロバイダ)との契約が別途必要です。
- 無線LANを設定するにはパソコンが必要になる場合があります。詳しくは無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

各部のなまえ

ワイヤレスLANカード

表面



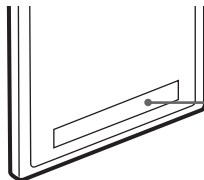
LED表示

アクセスポイントなどに接続中は、LEDがゆっくり点滅します。

データを転送しているときは、LEDの点滅が速くなります。(転送するデータ量によって点滅の速さが変わります。)

接続していないとき、LEDは点灯しません。

裏面



MAC Address

無線LANのネットワーク管理者が使用する場合があります。

付属品

- | | |
|--|---|
| ☐ CD-ROM(1) | ☐ 保証書(1) |
| ☐ 取扱説明書(1) | ☐ ソフトウェア使用許諾書(1) |
| ☐ ソニーご相談窓口のご案内(1) | ☐ WL100専用ハードケース(1) |

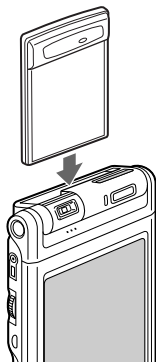
本機を挿入する / 取りはずす

本機をクリエに挿入する

クリエの通信用スロットに本機を挿入します。

ご注意

- 本機はクリエの通信用スロットにまっすぐに挿入してください。
- 通信用スロットに本機を逆向きに挿し込まないでください。無理に挿し込むと、破損による故障の原因となります。
- クリエの電池残量が少ないと使用できない場合があります。あらかじめ十分に充電してからお使いください。



しっかりと奥まで差し込む。

本機をクリエから取りはずす

使い終わったら通信機能を終了し、まっすぐに上に引き出すようにして取りはずしてください。

ご注意

通信中は本機を取りはずしたり、本機に衝撃を与えたりしないでください。

ソフトウェアをインストールする

初めて無線LAN通信を行うときは、クリエにWireless LAN環境設定ユーティリティをインストールします。Wireless LAN環境設定ユーティリティは、本機に付属のCD-ROMに収録されています。

ご注意

インストールする前に、クレードルなどでパソコンとクリエを接続し、HotSyncできる状態にしておく必要があります。クリエとパソコンの接続のしかたについて詳しくは、クリエの取扱説明書をご覧ください。

1 クリエのソフトリセットを行う。

ソフトリセットのしかたについては、クリエの取扱説明書をご覧ください。

2 本機に付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブなどに入れる。

インストーラが起動し、初期画面が表示されます。

💡 ヒント

インストーラが自動的に起動しない場合は、CD-ROM内の「setup」(setup.exe)をダブルクリックしてください。

3 以降、インストーラ画面の指示に従って操作する。

ユーザー名を選択する画面では、使用するユーザー名を選択します。

ご注意

複数の機種をお使いの場合は、機種ごとにインストールを行ってください。

4 インストーラを終了する画面が表示されたら、[完了]をクリックする。

これで、Wireless LAN環境設定ユーティリティをインストールする準備ができました。続いて、HotSyncを行い、パソコンからWireless LAN環境設定ユーティリティをインストールします。

5 パソコンでWindows画面右下のタスクトレイの アイコンをクリックする。

表示されたショートカットメニューで[ローカル]がチェックされていることを確認してください。

ヒント

タスクトレイに  アイコンが表示されていないときは、[スタート]メニューの [プログラム]-[Sony CLIE]-[HotSync マネージャ]をクリックして HotSync マネージャを起動します。

6 クリエでローカルHotSyncを実行する。

Wireless LAN環境設定ユーティリティがクリエにインストールされます。

ご注意

本ユーティリティの一部はシステムに組み込まれて拡張するため、アンインストールできません。

ハードリセットしたときは

必ず、本ユーティリティを再インストールしてください。

通常、クリエはハードリセットの後、HotSyncを利用してパソコンの中にあるバックアップデータを自動的にクリエに復元します。しかし、本ユーティリティはHotSync時に設定ファイルのみ復元され、ユーティリティ本体は復元されません。そのため、ハードリセットの後には、本ユーティリティの再インストールが必要となります。

無線LANアクセスポイントを経由して 通信する(インフラストラクチャーモード)

無線LANアクセスポイントを経由し、ワイヤレスでインターネット接続や通信などができます。

設定する

設定する前に

設定には、お使いになる無線LANアクセスポイントの設定値が必要です。下記の設定値をあらかじめ確認しておいてください。

[NetworkID(SSID)]: ESS-ID、ネットワーク名とも呼ばれます。

[WEP]: 暗号化、Encryptionとも呼ばれます。

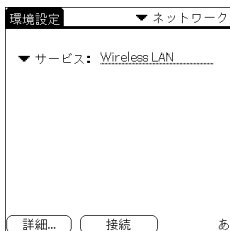
詳しくは、無線LANのネットワーク管理者にお問い合わせください。個人でご利用の場合は無線LANアクセスポイントに付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

本機の使用周波数は1～11チャンネル(2.4GHz帯)です。アクセスポイント側で使用しているチャンネルが12～14chの場合、本機では通信が行えませんのでご注意ください。

- 1 本機をクリエに挿入する。
- 2 クリエのホーム画面で[環境設定]アイコンをタップする。
「環境設定」画面が表示されます。
- 3 右上の▼をタップし、[ネットワーク]を選ぶ。
「ネットワーク」画面が表示されます。

4 [サービス]の▼をタップし、[Wireless LAN]を選ぶ。



5 画面左下の[詳細...]をタップする。

「Wireless LAN詳細設定」画面が表示されます。



6 [新規]をタップする。

「Wireless LAN詳細設定」の新規入力画面が表示されます。



[接続種別]で[Infrastructure]が選ばれている(黒く反転している)ことを確認してください。選ばれていないときは、[Infrastructure]をタップして選んでください。

💡 ヒント

画面右上の ⓘ マークをタップすると、設定についての簡単な説明を見ることができます。

7 [プロファイル名]を入力する。

通信相手やアクセスポイントの名称などに合わせて、好みの名称を入力します。

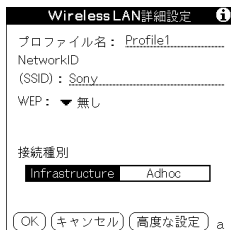


8 [NetworkID(SSID)]を設定する。

NetworkID(SSID)はアクセスポイント側で指定されています。必ず接続したいアクセスポイントの設定に合わせてください。

ご注意

- NetworkIDは半角英数字で入力する必要があります。
- アルファベットの太文字 / 小文字は区別されます。入力するときはご注意ください。



9 [WEP] (暗号化)の種類を設定する

WEPはアクセスポイント側で指定されています。必ず接続したいアクセスポイントに合わせて選んでください。

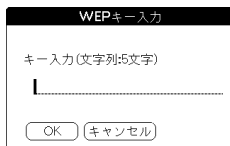


💡 ヒント

WEPで「無し」を設定する場合は、WEPキーの入力は必要ありません。手順11へ進んでください。

10 WEPキーを入力する。

WEPキーもアクセスポイント側で指定されています。必ず接続したいアクセスポイントに設定されているWEPキーを入力してください。



40/64bit:文字列(5文字)を選んだ場合

半角で5文字のパスワードを入力してください。

40/64bit:16進法(10桁)を選んだ場合

数字の0～9と英文字のa～fの16文字から組み合わせ、10桁のパスワードを入力してください。

104/128bit:文字列(13文字)を選んだ場合

半角で13文字のパスワードを入力してください。

104/128bit:16進法(26桁)を選んだ場合

数字の0～9と英文字のa～fの16文字から組み合わせ、26桁のパスワードを入力してください。

ご注意

文字列で入力する場合には、アルファベットの大文字 / 小文字は区別されません。入力するときはご注意ください。

💡 ヒント

- WEPキーは電波に乗せるデータを暗号化するセキュリティ機能です。
- WEPキーの種類は、メーカーによって呼びかたが異なる場合がありますのでご注意ください。

11 [OK]をタップする。

手順7で入力したプロファイル名で設定が完了しました。

12 ホームアイコンをタップする。

ホーム画面に戻ります。

設定した内容を修正する

- 1 クリエのホーム画面で[環境設定]アイコンをタップする。
「環境設定」画面が表示されます。
- 2 右上の▼をタップし、[ネットワーク]を選ぶ。
「ネットワーク」画面が表示されます。
- 3 [サービス]の▼をタップし、[Wireless LAN]を選ぶ。
- 4 画面下の[詳細...]をタップする。
「Wireless LAN詳細設定」画面が表示されます。
- 5 [プロファイル名]の下の▼をタップし、修正するプロファイル名を選ぶ。
- 6 画面下の[編集]をタップする。
「Wireless LAN詳細設定」の入力画面が表示されます。
- 7 変更したい内容を修正する。
- 8 [OK]をタップする。
- 9  ホームアイコンをタップする。
ホーム画面に戻ります。

設定したプロファイルを削除する

- 1 上記の「設定した内容を修正する」の手順6で、画面下の[削除]をタップする。
選んだプロファイルが削除されます。
- 2 [OK]をタップする。
- 3  ホームアイコンをタップする。
ホーム画面に戻ります。

ご注意

接続中に設定の変更を行わないでください。

高度な設定

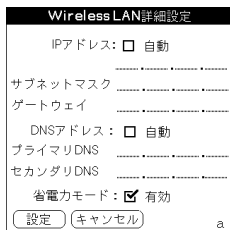
手動でネットワークの設定をする

ネットワークのIPアドレスやDNSアドレスを設定する必要があるときは、次の手順で設定してください。

1 「Wireless LAN詳細設定」の入力画面右下の[高度な設定]をタップする。

2 [IPアドレス]または[DNSアドレス]の「自動」の前にある ☒ をタップして ☐ にする。

IPアドレス、DNSアドレスの入力画面が表示されます。



Wireless LAN詳細設定

IPアドレス: ☐ 自動

サブネットマスク

ゲートウェイ

DNSアドレス: ☐ 自動

プライマリDNS

セカンダリDNS

省電力モード: ☒ 有効

設定 キャンセル

3 必要なアドレスを入力する。

4 設定が終わったら、[設定]をタップする。

省電力モードを解除する

1 「Wireless LAN詳細設定」の入力画面右下の[高度な設定]をタップする。

2 [省電力モード]の「有効」の前にある ☒ をタップして ☐ にする。

省電力モードが解除されます。

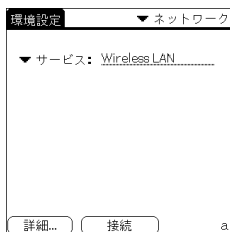
💡 ヒント

通信状況が悪いときなどに省電力モードを解除すると、最大電力で通信を行うことができますが、クリエの電池の消耗が早くなります。

通常は、省電力モードを有効にしてお使いください。

無線LANに接続する

- 1 本機をクリエに挿入する。
- 2 クリエのホーム画面で[環境設定]アイコンをタップする。
「環境設定」画面が表示されます。
- 3 右上の▼をタップし、[ネットワーク]を選ぶ。
「ネットワーク」画面が表示されます。
- 4 [サービス]の▼をタップし、[Wireless LAN]を選ぶ。



💡 ヒント

プロファイルを1つしか設定していない場合は、手順8へ進んでください。

- 5 画面左下の[詳細...]をタップする。
「Wireless LAN詳細設定」画面が表示されます。



- 6** [プロファイル名]の下の▼をタップし、使用するプロファイル名を選ぶ。



- 7** [OK]をタップする。
「環境設定」画面に戻ります。

- 8** 画面下の[接続]をタップする。
接続が始まります。
接続したら、希望のアプリケーションを起動してください。

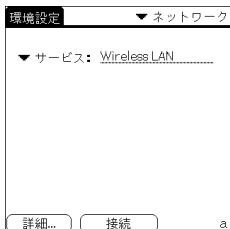
対応機器同士で直接通信する(アドホックモード)

無線LANアクセスポイントを経由せず、直接対応機器同士で通信することができます。

アドホックモードの設定および接続には、ネットワークに関する知識が必要です。

設定する

- 1 本機をクリエに挿入する。
- 2 クリエのホーム画面で[環境設定]アイコンをタップする。
「環境設定」画面が表示されます。
- 3 右上の▼をタップし、[ネットワーク]を選ぶ。
「ネットワーク」画面が表示されます。
- 4 [サービス]の▼をタップし、[Wireless LAN]を選ぶ。



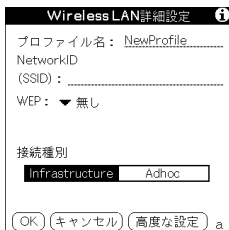
5 画面左下の[詳細...]をタップする。

「Wireless LAN詳細設定」画面が表示されます。



6 [新規]をタップする。

「Wireless LAN詳細設定」の新規入力画面が表示されます。



💡 ヒント

画面右上の ⓘ マークをタップすると、設定についての簡単な説明を見ることができます。

7 [プロファイル名]を入力する。

通信相手やアクセスポイントの名称などに合わせて、好みの名称を入力します。



Wireless LAN詳細設定 ⓘ

プロファイル名: Profile2

NetworkID

(SSID):

WEP: ▼ 無し

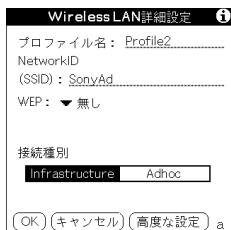
接続種別

Infrastructure Adhoc

OK キャンセル 高度な設定 a

8 [NetworkID(SSID)]を設定する。

NetworkID(SSID)は通信しようとする機器同士で同じ文字列を入力する必要があります。任意の文字列を決め、入力してください。



Wireless LAN詳細設定 ⓘ

プロファイル名: Profile2

NetworkID

(SSID): SonyAd

WEP: ▼ 無し

接続種別

Infrastructure Adhoc

OK キャンセル 高度な設定 a

9 [WEP]の暗号化の種類を設定する。

WEPは通信しようとする機器同士で同じ種類を選んでください。



Wireless LAN詳細設定 ⓘ

プロファイル名: Profile2

NetworkID

(SSID) : SonyAd

WEP: 無し

40/64bit:文字列(5文字)

40/64bit:16進数(10桁)

接続種別

104/128bit:文字列(13文字)

104/128bit:16進数(26桁)

Infr

OK キャンセル 高度な設定 a

💡 ヒント

WEPで「無し」を設定する場合は、WEPキーの入力は必要ありません。手順11へ進んでください。

10 WEPキーを入力する。

WEPキーも通信しようとする機器同士で同じキーを入力してください。

WEPキーについて、詳しくは19～20ページをご覧ください。



WEPキー入力

キー入力(文字列:5文字)

OK キャンセル



Wireless LAN詳細設定 ⓘ

プロファイル名: Profile2

NetworkID

(SSID) : SonyAd

WEP: ▼ 40/64bit:文字列(5文字)

キー: *****

接続種別

Infrastructure Adhoc

OK キャンセル 高度な設定 a

11 [接続種別] で [Adhoc] をタップする。

接続の種類としてアドホックモードが選択されます。



Wireless LAN 詳細設定 ⓘ

プロファイル名: Profile2

NetworkID

(SSID): SonyAd

WEP: ▼ 40/64bit文字列(5文字)

キー:

接続種別

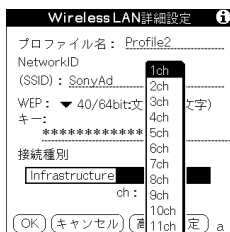
Infrastructure Adhoc

ch: ▼ 1ch

OK キャンセル 高度な設定 a

12 [Adhoc] の下の [ch] の横の▼をタップし、チャンネルを選ぶ。

チャンネルは、通信しようとする機器同士で同じに設定する必要があります。1～11のチャンネルの中から選んで設定してください。



Wireless LAN 詳細設定 ⓘ

プロファイル名: Profile2

NetworkID

(SSID): SonyAd

WEP: ▼ 40/64bit文
文字)

キー:

接続種別

Infrastructure

ch: ▼

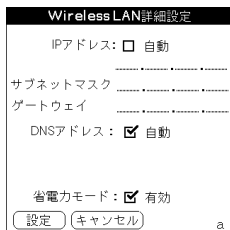
1ch
2ch
3ch
4ch
5ch
6ch
7ch
8ch
9ch
10ch
11ch

OK キャンセル 高度な設定 a

13画面右下の[高度な設定]をタップする。

14[IPアドレス]の「自動」の前にある☑をタップして□にする。

IPアドレスの設定画面が表示されます。



Wireless LAN詳細設定

IPアドレス: ☐ 自動

サブネットマスク

ゲートウェイ

DNSアドレス: ☒ 自動

省電力モード: ☒ 有効

設定 キャンセル a

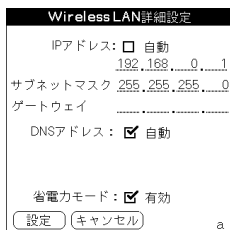
15IPアドレスとサブネットマスクを入力する。

IPアドレスは、通信しようとする機器同士で違うアドレスを入力します。

サブネットマスクは、通信しようとする機器同士で同じアドレスを入力します。

(入力例)

IPアドレス	本機: 192.168.0.1
	通信相手機器: 192.168.0.2
サブネットマスク	本機 / 通信相手機器: 255.255.255.0



Wireless LAN詳細設定

IPアドレス: ☐ 自動
192.168.0.1

サブネットマスク 255.255.255.0

ゲートウェイ

DNSアドレス: ☒ 自動

省電力モード: ☒ 有効

設定 キャンセル a

💡 ヒント

ゲートウェイアドレスは必要に応じて入力してください。また、DNSアドレスを入力する必要がある場合は、[DNSアドレス]の「自動」の前にある☑をタップして□にしてから入力してください。

16 [設定] をタップする。

「Wireless LAN 詳細設定」画面が表示されます。

17 [OK] をタップする。

手順7で入力したプロファイル名で設定が完了しました。

18 ホームアイコンをタップする。

ホーム画面に戻ります。

省電力モードを解除する

- 1 「Wireless LAN 詳細設定」の入力画面右下の[高度な設定]をタップする。
- 2 [省電力モード]の「有効」の前にある ☒ をタップして ☐ にする。
省電力モードが解除されます。

ヒント

通信状況が悪いときなどに省電力モードを解除すると、最大電力で通信を行うことができますが、クリエの電池の消耗が早くなります。
通常は、省電力モードを有効にしてお使いください。

設定した内容を修正する

- 1 クリエのホーム画面で[環境設定]アイコンをタップする。
「環境設定」画面が表示されます。
- 2 右上の▼をタップし、[ネットワーク]を選ぶ。
「ネットワーク」画面が表示されます。
- 3 [サービス]の▼をタップし、[Wireless LAN]を選ぶ。
- 4 画面下の[詳細...]をタップする。
「Wireless LAN詳細設定」画面が表示されます。
- 5 [プロファイル名]の下の▼をタップし、修正するプロファイル名を選ぶ。
- 6 画面下の[編集]をタップする。
「Wireless LAN詳細設定」の入力画面が表示されます。
- 7 変更したい内容を修正する。
- 8 [OK]をタップする。
- 9  ホームアイコンをタップする。
ホーム画面に戻ります。

設定したプロファイルを削除する

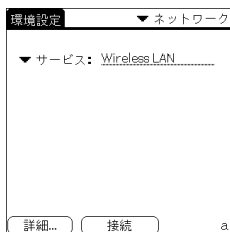
- 1 上記の「設定した内容を修正する」の手順6で、画面下の[削除]をタップする。
選んだプロファイルが削除されます。
- 2 [OK]をタップする。
- 3  ホームアイコンをタップする。
ホーム画面に戻ります。

ご注意

接続中に設定の変更を行わないでください。

対応機器に接続する

- 1 本機をクリエに挿入する。
- 2 クリエのホーム画面で[環境設定]アイコンをタップする。
「環境設定」画面が表示されます。
- 3 右上の▼をタップし、[ネットワーク]を選ぶ。
「ネットワーク」画面が表示されます。
- 4 [サービス]の▼をタップし、[Wireless LAN]を選ぶ。



💡 ヒント

プロファイルを1つしか設定していない場合は、手順8へ進んでください。

- 5 画面左下の[詳細...]をタップする。
「Wireless LAN詳細設定」画面が表示されます。



6 [プロファイル名]の下の▼をタップし、使用するプロファイル名を選ぶ。



7 [OK]をタップする。

「環境設定」画面に戻ります。

8 画面下の[接続]をタップする。

接続が始まります。

接続したら、希望のアプリケーションを起動してください。

無線LANでネットワークHotSyncする

ここでは、本機の使用例として、クリエからパソコンに無線LAN経由でHotSyncする手順を説明します。

パソコン側の準備をする

- 1 Windowsの画面右下のタスクトレイの  アイコンをクリックして、表示されたショートカットメニューの[ネットワーク]にチェックをつける。
- 2 タスクトレイの  アイコンをクリックして、表示されたショートカットメニューから[起動 / 接続設定]を選ぶ。
「起動 / 接続設定」画面が表示されます。
- 3 [ネットワーク]タブをクリックし、チェックボックスをクリックしてHotSyncするユーザー名を選ぶ。
- 4 [TCP/IPの設定]をクリックし、サブネットマスクを入力する。
- 5 [OK]をクリックする。
- 6 クリエとパソコンをつなぎ、ローカルHotSyncを実行する。
設定したパソコンの情報をクリエに転送します。
無線LANでHotSyncするとき、この情報を元にHotSyncするパソコンを特定します。

クリエ側の準備をする

続いて、クリエ側で以下の準備を行います。

- 1 [環境設定]の「ネットワーク」画面で、サービスに[Wireless LAN]を選び、「Wireless LAN詳細設定」画面でHotSyncに使用するプロファイル名を選ぶ。
詳しくは、「無線LANに接続する」(23 ~ 24 ページ)の手順1 ~ 6を参照してください。

- 2 ホーム画面でジョグダイヤルを回して[HotSync]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。
「HotSync」画面が表示されます。
[HotSync]アイコンをタップしても、HotSync画面を表示することができます。
- 3 メニューアイコンをタップして、[オプション]メニューから[プライマリパソコンの設定]をタップする。
- 4 [プライマリパソコンのアドレス]と、[サブネット マスク(オプション)]が入力されていることを確認し、[OK]をタップする。
- 5 メニューアイコンをタップして、[オプション]メニューから[モデム HotSyncの設定]をタップする。
- 6 [ネットワーク]をタップし、[OK]をタップする。
- 7 HotSync画面に戻ったら[モデム]をタップして、[サービスの選択]をタップする。
- 8 [サービス]の▼をタップして[Wireless LAN]を選び、[終了]をタップする。

ヒント

[電話番号の入力]に電話番号を入力する必要はありません。

ご注意

ホーム画面から起動した[環境設定]の「ネットワーク」画面でも、サービスに[Wireless LAN]が選択されていることをご確認ください。

HotSyncする

パソコンとクリエの準備が終わったら、「HotSync」画面で[HotSync]アイコンをタップします。

自動的にネットワークへ接続し、HotSyncが始まります。

通信できない場合には

上記の手順3のあと、[プライマリパソコン名]を消去して再度クリエ側の準備を試みてください。

困ったときは

通信できない、あるいは機器が正常に動作しないなどのトラブルが発生した場合、故障と考える前に、症状に応じて以下の点を確認してください。それでも具合が悪いときは、ネットコミュニケーション カスタマーリンクにご相談ください。

症状	原因 / 対策
本機がクリエに認識されない (接続を開始しても本機のLEDが点滅しない)	クリエの通信用スロットに正しく取り付けられていない。 → 本機の向きを確かめ、奥まで確実に取り付けてください。 [環境設定] の [ネットワーク] で [Wireless LAN] 以外のサービスを選択している。 → サービスの中から [Wireless LAN] を選択してください。 クリエに付属しているCF Utilityアプリケーションでカード名が出ることを確認する。 → カード名が出ないときは、本機が接続されていません。再度取り付けてください。
アクセスポイントに接続できない	間違ったプロファイルを選択している。 → Wireless LAN 詳細設定画面で選択している [プロファイル名] を確認してください。 通信設定が正しくない。 → NetworkID、WEPキーなどの設定を確認してください。 クリエとアクセスポイントの距離が遠い。 → クリエをアクセスポイントに近づけてください。

症状	原因 / 対策
アクセスポイントに接続できない	金属板やコンクリートなど電波をさえぎる障害物がクリエとアクセスポイントの間にある。 → クリエまたはアクセスポイントの位置を変えてください。 → 省電力モードを無効にしてみてください。 (ただし消費電力が多くなりますので、バッテリー残量にご注意ください。) アクセスポイントのチャンネルが1～11以外に設定されている。 → アクセスポイントの設定を変更してください。
インターネットにつながらない	アクセスポイントがインターネットに接続していない。 → アクセスポイントの取扱説明書にしたがって接続してください。 ネットワークの設定に間違いがある。 → ネットワークの管理者に設定内容を確認してください。
データ転送速度が遅い	他のアクセスポイントと混信している。 → アクセスポイントのチャンネル番号を変更してみてください。設定の変更方法については、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。 アクセスポイントへのアクセスが一度に集中している。 → 時間を置いてもう一度アクセスしてみてください。

症状	原因 / 対策
データ転送速度が遅い	金属板やコンクリート、水など電波をさえぎる障害物がクリエとアクセスポイントの間にある。 → クリエまたはアクセスポイントの位置を変えてください。 → 省電力モードを無効にしてみてください。 (ただし消費電力が多くなりますので、バッテリー残量にご注意ください。) 電子レンジやBluetoothなどの2.4GHz帯の周波数を使用する機器を周囲で使用している。 → それらの機器とクリエとの距離を離すか、または電源を切ってください。
WER(暗号)キーを忘れた	→ アクセスポイントを工場出荷時の状態に戻し、再度設定を行ってください。 工場出荷時の状態に戻す方法は、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
メールの送受信ができない	→ メールソフトの設定を確認してください。 メールソフトの設定方法についてはメールソフトに付属の取扱説明書をご覧ください。
HotSyncが行えない	→ HotSyncの設定を確認してください。 HotSyncの設定方法についてはクリエ本体に付属の取扱説明書をご覧ください。
ホームページを見ることができない	→ Webブラウザの設定を確認してください。 Webブラウザの設定方法についてはWebブラウザに付属の取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

本機をクリエに入れて通信中に、[環境設定] の [ネットワーク画面] を出し、メニューの [オプション] から [ログ表示] を選択すると、通信環境の情報を表示することができます。

使用上のご注意

本機の取り扱いについて

- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。本機の故障の原因となります。
- 直射日光が当たる場所、暖房器具の近くなど、異常な高温になる場所には置かないでください。故障の原因となることがあります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- ほこりが多い場所では使用しないでください。
- 湿気が多い場所では使用しないでください。
- 風通しが悪い場所では使用しないでください。
- 本機をクリエに取り付けるときは、取り付ける向きに注意してください。無理に押しこむと故障の原因となります。
- 電源ランプが点灯中にクリエから取りはずさないでください。電源ランプが消灯していることをご確認の上、取りはずしてください。
- 2.4GHz帯を使用する機器が周囲にある場合、本機およびクリエが正常に動作しないおそれがありますのでご注意ください。

結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。そのままご使用になると故障の原因となります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。

主な仕様

電源	クリエ本体から供給
消費電力	送信時: 約560 ~ 920 mW(typ)* 待機時: 約90 mW(typ)* * デフォルト設定において (ご注意: LED消灯時は電力を消費しません)
最大外形寸法	42.8 × 55.4 × 5.9 mm(幅/長さ/厚さ)
質量	約14 g
最長通信距離 ¹⁾	屋内: 90 m、屋外: 300 m
対応プロトコル	TCP/IP
準拠規格	IEEE 802.11b
使用周波数帯	2.4 GHz帯(1 ~ 11チャンネル、ISMバンド)
WEP(データの暗号化)	128 ビット / 40 ビット
変調方式	DS-SS(IEEE 802.11b準拠)
動作温度	5 ~ 35 (結露のないこと)

¹⁾通信機器間の障害物や電波状況、電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害の発生する場所、使用するソフトウェア、OS、通信する機器の受信感度、アンテナ性能などにより変化します。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品を別途お買い求めの場合は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはネットコミュニケーション カスタマーリンクまたはソニーサービス窓口へご連絡ください

ネットコミュニケーション カスタマーリンクについては、クリエイに付属の
「クリエイ サービス・サポートのご案内」をご覧ください。

ソニーサービス窓口については、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、故障の原因が不当な分解や改造であると判明した場合は、保障期間であっても、有償修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の交換について

この製品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社はワイヤレスLANカードの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後6年間保存しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、ネットコミュニケーション カスタマーリンクにご相談ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください

- 型名: PEGA-WL100
- 製造番号:
- 故障の状態: できるだけ詳しく
- 購入年月日:
- ご使用のアクセスポイント:

CLIEホームページ

CLIEを楽しく使っていただくための情報をご案内します。

● <http://www.sony.co.jp/CLIE/>

ネットコミュニケーション カスタマーリンク ホームページ

最新のプログラム、接続情報やよくある問い合わせ等は、
下記のホームページの機種別情報のページをご参照ください。

● <http://www.nccl.sony.co.jp/>

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

使い方のご相談、技術的なお問い合わせは

ネットコミュニケーション カスタマーリンクへ

● 0466-30-3080

カスタマー登録、一般的なお問い合わせは

ソニーカスタマー専用デスクへ

● 03-5977-7255

お電話の前に、必ずクリエに付属の「クリエ サービス・サポートのご案内」をご覧ください。

<http://www.sony.co.jp/>



この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan